

HSK ステップ

石川県肢体不自由児協会
石川県肢体不自由児者父母の会連合会

第 31 号

平成 30 年 1 月 8 日発行



平成 29 年度さわやかレクリエーション

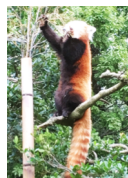
～みんなでいっしょに動物と触れ合おう～



平成 29 年 10 月 15 日 (日) 石川県能美市のいしかわ動物園で「みんなでいっしょに動物と触れ合おう」と題し、さわやかレクリエーションが行われました。いしかわ動物園企画教育係の三上さんから動物園の説明をお聞きしたあと、ボランティアの石川星陵大学の学生さんを交えた小グループに分かれ、一緒に動物たちを見て回りました。昼食後はコカ・コーラの豪華景品が当たるデジタルビンゴゲームで盛り上がりしました。あいにくの雨模様となりましたが、その分一般のお客さんが少なめでゆっくり回ることができ、楽しい一日となりました。参加された方から寄せられた感想を一部ご紹介します。

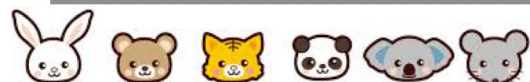
〈保護者〉

- ・ 普段あまりお聞きすることがない動物園の仕事についてお話を聞けて良かったです。写真も多く子どもにも分かりやすかったと思います。ボランティアの学生さんにもついてもらえて、家族もゆっくり園内を楽しむことができました。
- ・ 子どもたちと歳の近い学生さん (しかも女子) だったので、家族だけで回るのとはまた違い、楽しかったです。
- ・ 無理のないスケジュールだったので最後まで飽きることなく楽しく過ごせて良かった。
- ・ 少し寒い中でしたが、ほかの来場者が少なかったこともあり、ゆっくりと見物することができました。
- ・ 優しい学生さんや楽しい仲間とふれあえて充実した時間でした。もう少し動物園の中をゆっくり見られたら良かったです。



〈本人〉

- ・ 学生さんや友達と交流できて楽しかったです。
- ・ ライオンの鳴き声は思っていたのちがう。
- ・ うさぎを抱いてみて、気持ち良かった。
- ・ ウサギに触るのがこわかった。
- ・ ゾウがでかかった。・ 鳥がかわいかった。
- ・ ボランティアの方が手伝ってくれて良かった。
- ・ 駐車場を近くにとってくれたのが良かった。



〈ボランティア〉

- ・ 参加できて本当に良い体験になりました。普段は使わないスロープや手すりなどの位置が、いつもと違う風に見えました。細かいところまで配慮が行き届いていて、いしかわ動物園の人たちの優しさを感じました。
- ・ 体がうまく使えなかったり言葉が上手にでてこなかったりしても、それぞれの考えや気持ちを伝える方法は様々にあると気付きました。その信号をいかにキャッチし、自分も相手に伝えていくことが大事だと分かりました。

平成 29 年 9 月 8 日（金）～ 9 月 9 日（日）

第 50 回全国肢体不自由児者父母の会
第 52 回近畿肢体不自由児者福祉大会

京都大会に参加して



1 日目はリーガロイヤルホテル京都で情報交換会が行われました。美味しいお料理をいただきながら舞妓さんや芸妓さんの舞を堪能し、抽選会では当たるはずがないと思って応募したリュックが当たったり、久しぶりにお会いする先輩お母様方と色んなお話が出来て楽しい時間を過ごせました。

2 日目は大会！！「住み慣れた地域で、共生社会の実現！」 - 誰もが排除されることのない全員参加型の社会へ - というテーマで、今回参加を決めたきっかけになった興味深いものでした。

社会学者、東京大学名誉教授で、認定 NPO 法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)理事長の上野千鶴子さんによるアンケート分析報告・基調講演「障害のある人の母親という経験 - 障害のある人の(母)を対象にしたアンケート分析から -」がありました。

調査の趣旨は、介護をほぼ一手に引き受けてきた家族、特に母親にスポットを当て、近畿ブロックの父母の会の会員を対象に行われたものです。私が気になった調査とその結果をいくつか紹介し、感じたことを述べたいと思います。

☆ひとりの人間としてあなた自身があきらめたこと、辛かったことは？ ☆

否定的な回答が多かったこと、その中でも「普通の生活」、「人生そのもの」等の回答があったことは、子どもの存在を否定されているように思え、とてもショックでした。否定的なアンケート結果を見ると、自分がとても恵まれているのだと感じ、協力してくれる周囲の人への感謝の気持ちが強くなりました。

☆ あなたの人生で、良かったこと、辛かったことは？ ☆

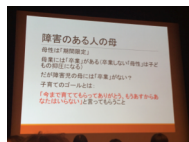
近隣地域との関係で、否定票に「理解してもらえないつらさ」、「冷たい視線」、「差別や偏見」の回答がありました。私の最も苦手なことで、町内会の人に自分たち家族のことを知ってもらいたいが、悲しい思いをした経験から地域へ出るのが怖くなりました……。学校や父母の会の人とのつながりは充実していますが、地域とのつながりは全く無いと言えるほどで、災害等のもしもの時を考えると不安になります。

☆ これからの生活において、あなた自身が望むことは？ ☆

多数が「親亡き後に残される子どもの生活への不安」でした。子どもが 1 人しかいない私も全く同じ気持ちで、学校の卒業が迫り、成年後見制度のことなどを耳にするようになり、今更ながら福祉制度についてもっと勉強しなければいけないと感じました。

上野先生のお話の中で、1 番心に残ったのは、障害のある人の母について～母性は「期間限定」で、母業には「卒業」があり、卒業しない「母性」は子どもの抑圧になる。けれど、障害児の母には「卒業」がない。子育てのゴールとは【今まで育ててくれてありがとう。もう明日からあなたはいらない】と言ってもらおうこと～・・・という言葉です。それが親にとっても子どもにとっても 1 番理想的なのだろうと思うのですが、障害があるわけでもない 46 歳の娘のことが心配で仕方がない親がいるように、沢山の方の力をお借りしながら、一生の子育てがあっという間ののでは、とも感じました。

(内灘町 油木)



平成 29 年度東海北陸ブロック地域指導者育成セミナー

開催日 平成 29 年 9 月 23 日（土）～ 24 日（日）

会 場 静岡市『ザ・バンケット竜宮』 出席者 松田会長・高松副会長

目 的

- ・各地で頻発する様々な災害に備え、平時から準備を進めることはとても重要な事です。しかし頭の中で必要な事がわかっていても、被災時に実際に行動に移すことは難しいものです。過去の災害状況を検証し、自分たちでどのように声をあげていったら被災した際に安全に安心して行動できるかを一人ひとりが考え、連携する支援者を増やしていくことが必要です。災害対応に想定外があつてはならない事を先駆的な実践例から学び、何が必要なのかを話し合い具現化をしていく事と、要配慮者である本人からの声として防災制度等の改善とガイドライン等の策定推進を目指していくことが大切です。

< 1 日目 > 全国社会福祉協議会 副部長 園崎秀治氏

社会福祉法人 大阪ボランティア協会 事務局長 永井美佳氏

- ・平常時に行っていないことを災害時に行うことは困難である。要支援者が災害時に限定してボランティアを受け入れるのではなく、平常時から受け入れることが、災害時に『受援力』を発揮する。災害ボランティアを受け入れるルートの検討や、ボランティアコーディネーターの育成が重要である。

< 2 日目 > 全肢連 副会長 石橋吉章氏

- ・災害対策基本法の改正について
「災害時要援護者の避難支援ガイドライン」が「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針」に改訂され、実効性のある避難支援が出来るようになる。実効性のある避難支援とは・・・。



地域指導者養成セミナー



金沢支部「市長と語る会」



金沢支部 「市長と語る会」

金沢支部では今年度初めて、支部会員全員を対象に、往復ハガキを用いた意見交換会の案内と意見集約を行いました。その上で、10月11日（水）に意見交換会を実施し、その場で山野金沢市長に、直接、話をさせていただき希望者、意見内容の集約を行い、実際には11月28日（火）に、12名にて金沢市役所を訪問し、昼食をとりながら市長と意見交換をさせていただきました。

グループホーム、入所施設、移動支援、ショートステイ、医療的ケアのある方への支援、紙おむつ助成対象の拡大など、私たちが日常困っている事や悩んでいる事をお話する機会とすることができました。

まず我々が自分たちの状況を、直接市長にお伝えすることができたことが、最初の一步であると思います。市長からは、後日「初めて聞く内容もあり大変勉強になりました。可能なものから対応していきたい。」とのお話をいただいております。引き続き、会員全体が連携して、私たちが抱える課題解消に取り組んでいきましょう。

ひとみきらきら こころぽかぽか 絵本教室



12月2日(土)午前中、県立いしかわ特別支援学校小体育館をお借りして絵本教室を実施しました。会員、いしかわ特別支援学校肢体不自由教育部門、金沢こども医療福祉センターに案内し、42名の親子が参加しました。

立命館大学応用人間科学科教授の増田梨花先生を講師としてお招きし、講演では多くの絵本を紹介、先生のやさしいお話やピアノの音色、また『ラブ・ユー・フォーエバー』の子守唄では、いろいろな思いがこみ上げ涙ぐまれている方が多く見られました。わが子とともにあたたかく、ゆったりとした気持ちと時間を味わう会となりました。

参加された方の感想より

- ・うちの子は、力が入り、体がこわばるので、ラブユーフォーエバーや子もり歌、きかせてみます。
- ・子どもと絵本でスキンシップをたくさんとれるように心がけようと思いました。肢体不自由児協会さんの行事は安心して参加できます。今日は参加してよかったです。ぽかぽかして帰ります。
- ・先生のやさしいお話とピアノの音色で、ふんわりした気持ちになりました。日々、忙しくなる中、大事な時間を持てました。
- ・ステキなおはなし、絵本、うた、紹介してくださり、ありがとうございます。笑顔を忘れずがんばる元気をもらいました。ラブユーフォーエバー 涙が出ました。
- ・日々、流れるように過ぎる時間の中で、娘と向かいあっている、大切な時間を共にできました。今日は少し肌寒かったかもしれません。

いぬわし会 クリスマス会

『とっても楽しかった!』

青年部(本人部会)では今年度若手7名が増え、現在22名となりました。12月3日(日)ホテル日航金沢29階の「桃李」で、本人・保護者・ヘルパーさんを含め27名がクリスマス会に参加。自己紹介では、現在の生活・趣味などを下書きしながらハラハラドキドキ、発表を終えるとほっとして、コース料理を味わい、会話やビンゴゲームで楽しみました。



映画招待会ありがとうございました



金沢兼六ライオンズクラブ様が毎年ご招待いただき今年で12回目となります。ユナイテッド・シネマ金沢の支配人様にも大変ご配慮をいただきありがとうございます。

8月27日(日)、8時30分から『怪盗グルーのミニオン大脱走』を鑑賞しました。217名が参加、ライオンズ関係者、事務局を含め約240名となりました。また、ライオンズクラブ様に折りたたみ椅子を多数準備いただき本当にありがとうございました。

参加された方の感想より

- ・毎年参加させていただいていますが年々参加しやすくなっていると思います。この会をきっかけに家でも映画に連れて行くようになり、ずいぶん楽しめるようになりました。
- ・普段は声を出すので学校を卒業してからは映画館に行くこともなかったので、すごく良かったです。大きなスクリーンで楽しい映画を大音量で見られて本人もとても楽しそうでした。
- ・学校を卒業して、なかなか会えない友達に会うことができました。そんな場になり、大変うれしかったです。
- ・金沢兼六ライオンズクラブの方々、本当にありがとうございます。毎年楽しみに親子で安心して見えています。浅野川病院、NPO法人の方、若い方のボランティアに言葉では言えない嬉しい気持ちです。

楽しかった。ありがたかった。来年もよろしくお願いします。の声で一杯でした。来年も多くの方の参加で、この会が行われることを願っています。

ありがとう
ございました

バザーへのご協力ありがとうございました

9月3日(日)「金沢市福祉のつどい2017」、9月24日(日)「石川県障害者ふれあいフェスティバル」。毎年、多大なご協力ご賛同をいただきありがとうございます。

バザー売上金は当協会の運営費や会員の皆様のために使わせていただきます。

《商品提供企業等》(敬称略)

金沢市公設花き市場運営協会、北陸コカ・コーラボトリング(株)金沢支店、有限会社中村真美堂、小林富彦、大寺 温、松田郁夫、紺井好美、斉藤里美、中田裕子、吉井伸行、干場一功、杉本順子、野畠 悟、酒元礼子、林 和子、高田 茂

お知らせコーナー

『成人を祝う会』のお知らせ

日 時：平成 30 年 1 月 14 日（日）午前 11 時～午後 14 時 30 分
会 場：石川県社会福祉会館 4 階大ホール
新たに成人となられた方をお祝いする「成人を祝う会」を行ないます。当日は、記念写真撮影やお祝いの記念品を用意して、該当の皆さんのご参加をお待ちしています。
今年は該当者が多く、12 月初旬に案内状を送付、年内に出席確認を行ないます。
(会員以外の方にも特別支援学校にご協力を頂きご案内しています。)

愛の絵はがき・一筆箋 販売状況



今年も「愛の絵はがき」と「一筆箋」の販売をしました。
29 年度版「愛の絵はがき」600 セット印刷、残り 79 セット。
「一筆箋」は、2 年間分として 600 冊印刷、289 冊を販売しています。
ご注文やお問い合わせは事務局までお願いします。

皆様のご参加をお待ちしております

- 第 51 回全国肢体不自由児者父母の会連合会（函館大会）
日時・・・平成 30 年 9 月 29 日（土）～30 日（日）
場所・・・函館アリーナ
- 第 53 回東海北陸肢体不自由児者父母の会連合会（三重大会）
日時・・・平成 30 年 6 月 2 日（土）～3 日（日）
場所・・・伊勢志摩ロイヤルホテル
- 東海北陸肢体不自由児者父母の会連合会 指導者養成セミナー
日時・・・平成 30 年 11 月 10 日（土）～11 日（日）
場所・・・湯の山温泉 グリーンホテル（予定）



編集後記

今年は例年より早く雪が積もりましたね。雪が積もってワクワクしつつも、困っている方も多いことと思います。それでも雪景色はとても美しいですよ、ぜひ冬の景色を楽しみましょう。

さて、今号も皆様の協力により行事の報告ができました。ありがとうございました。

皆様、くれぐれも雪道での事故や体調管理に気をつけて、お元気に年末年始をお過ごし下さい。

作成スタッフ一同

＊＊ お問い合わせ・ご連絡 ＊＊
お気軽にお電話ください。

編集人：石川県肢体不自由児協会
石川県肢体不自由児者父母の会連合会
連絡先：〒920-8557（事務局）

金沢市本多町 3-1-10

石川県社会福祉会館内

電話・FAX 076-224-6126

E メール ishikawakenshiren@movie.ocn.ne.jp

発行人：北陸障害者定期刊行物協会

富山市今泉 312

定価 50 円